

今日の給食は、オムレツ（パックケチャップ）、りっちゃんサラダ、秋野菜のカレーポトフ、ソフトパン（いちごジャム）、牛乳でした。本日のメニューについては、語りたことが山ほどあるのですが…わたくしの（数少ない）得意メニューのポトフ、「ふわトロ」の仕上がりを目指して日夜努力した（←ちょっと盛っています）オムレツ…。しかし、やはり今日は「りっちゃんサラダ」に触れないわけにはいかないでしょう。ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、角野栄子（かどの えいこ）さん作（『魔女の宅急便』も有名ですね）・長新太（ちょうしんた）さん絵の「サラダでげんき」というお話に登場するサラダが、いわゆる「りっちゃんサラダ」です。1年生の国語の教科書に載っていることも多く、南三陸町の子供たちにとってはおなじみのお話です。病気になったお母さんのために「りっちゃん」はサラダづくりを始めます。そのサラダづくりを動物たちが「〇〇を入れるといいよ」とアドバイスしてくれます。猫や犬、スズメ…など身近な動物だけではなく北極の白熊から電報が届いたり、なんと飛行機に乗って象がやってきたりします。子供たちの大好きなお話に登場する「りっちゃんサラダ」は、とてもおいしくてりっちゃんのお母さんだけではなく、みんなが元気で笑顔になるサラダなんですよ！

